

13. 景観緑肥作物による雑草抑制効果

福島県農業試験場会津支場・平成11年春夏作試験成績概要

- 1 部門別 普通畑作物－その他－その他 02－99－20990000
2 担当者 山田英雄・渡部 隆・大谷裕行
3 要 旨

近年、遊休農地の増加が問題となっている。そこで、会津地域における畑地の景観美化を目的とした緑肥作物の導入を検討した。

- (1) 初期生育の旺盛な作物ほど雑草の発生を抑制する傾向が認められた。供試した作物の中では、キカラシ、アンジェリア、ソバ、ナタネは、初期生育が旺盛で、草丈も高くなることから、雑草抑制効果が高かった。また、これらの作物は花がきれいで、畑に作付けした時に見映えがすることから、景観緑肥作物として適していると考えられる。
- (2) 播種適期は、キカラシ、アンジェリア、ソバが5月上旬、ナタネが9月下旬頃である。
- (3) ソバ、ナタネは雑草化することが予想されることから、翌年別の作物を作付けする場合には、ソバ、ナタネの成熟期前にすき込み、雑草化を防ぐ必要がある。